

※展覧会の名称は変更する場合があります。

愛媛県美術館所蔵

杉浦 非水

—モダンデザインの先駆者—

HISUI SUGIURA : A PIONEER OF JAPANESE GRAPHIC DESIGNER

平成29年4月15日(土) — 6月11日(日)

プレスリリース

細 肌 美 術 館

杉浦非水 —モダンデザインの先駆者—

HISUI SUGIURA : A PIONEER OF JAPANESE GRAPHIC DESIGNER

〒606-8342
京都市左京区岡崎最勝寺町6-3
TEL075-752-5555・FAX075-752-5955
<http://www.emuseum.or.jp>

平成29年4月15日(土)－6月11日(日)

※一部展示替有り

開催趣旨

- * 愛媛県美術館が所蔵する約7000件に及ぶ作品、関連資料の中から、代表作を中心にさまざまな分野の作品を紹介。
- * 杉浦非水を単独で取り上げる展覧会は、京都初。



明治・大正・昭和にわたりデザイナーとして活躍した杉浦非水(1876~1965)は、明治9年愛媛県松山市に生まれました。はじめは地元の四条派絵師・松浦巖暉に、東京美術学校入学後は川端玉章に師事し、日本画を学びましたが、在学中に洋画家・黒田清輝がフランスよりもたらしたアール・ヌーヴォー様式の図案類に魅せられ、以後図案家として歩みます。

明治41年(1908)には三越呉服店に入社、同店のポスターやPR誌の表紙絵などを27年間にわたり手掛けたほか、雑誌の表紙、書籍の装幀、絵葉書、ポスター、

パンフレット、商品パッケージなど、さまざまな分野で先進的なデザインを数多く残しています。

さらに非水の活動は、作品制作にとどまらず、研究団体を結成して展覧会や雑誌の刊行を行ったほか、多摩帝国美術学校の創立に参画するなど、多岐にわたっており、非水はまさに、日本の“グラフィックデザイン”的原点ともいべき存在です。

本展は、愛媛県美術館が所蔵する非水コレクションから選りすぐりの名品を紹介するものです。非水のモダンでおしゃれなデザイン世界をご堪能ください。



杉浦非水とは

● 日本で最初のグラフィックデザイナー

非水が活躍した時代は、日本におけるグラフィックデザインの創成期。新時代を迎え、生活様式も変化していく中、さまざまな商品や娯楽も登場、人や物の往来が増えた時代に活躍したのが非水です。印刷技術も発展し、広告・宣伝の有効性が高まっていたこの時、商業デザイナーとして、アール・ヌーヴォーやアール・デコなど、西洋の様式を取り入れながら、時代の気分にふさわしいデザインを次々と考案しました。

● 非水作品の魅力

さまざまな種類の花や鳥、動物たち、麗しい女性の姿、活気に満ちた都市風景、季節感あふれる景色など、和洋のモチーフを用いながら、形態の省略、大胆な構図、明快な色などを自在に操り、創作した非水。さらに組み込む文字の書体や色、配置の絶妙なバランスもみどころです。細かい部分にまで行きわたるこだわりが、おしゃれで先進的な非水デザインを生み出しています。

会期中のイベント

「ギャラリートーク」 講師：長井 健 氏(愛媛県美術館 専門学芸員)
4月15日(土)午前11時～、午後3時～

関連図録

「生誕140年 杉浦非水 開花するモダンデザイン」
2,500円(税込)
B5判／273ページ



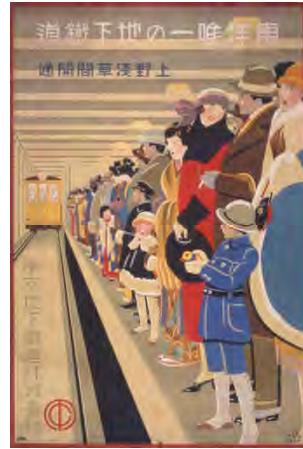
HISUI SUGIURA

出品作品 ※すべて愛媛県美術館蔵

〈ポスター〉



三越呂服店 春の新柄陳列会
大正 3年 (1914)



東洋唯一の地下鉄道 上野浅草間開通
昭和 2年 (1927)



爽快美味滋強飲料 カルピス
大正 15年 (1926)



新宿三越落成 十月十日開店
昭和 5年 (1930)

〈雑誌表紙・装幀〉



『みつこしタイムス』第九巻第四号
明治 44年 (1911) 4月



『雄弁』第十五巻第十号
大正 13年 (1924) 10月



『三越』第十五巻第六号
大正 14年 (1925) 6月



菊池幽芳著『百合子』上・中・下
大正 2年 (1913)

〈図案集〉



『非水一般応用図案集』
大正 10年 (1921)



『非水百花譜』
昭和 4-9年 (1929-34)

〈絵葉書〉



非水図案絵葉書

〈パッケージデザイン・ラベル〉



光
昭和 11年 (1936)
(商品発売年)



「日立コムパウンド」ラベル

主 催: 細見美術館 京都新聞

特別協力: 愛媛県美術館

入館料: 一般 1200円(1100円)

学生 1000円(900円)

※()内は20名様以上の団体料金

休館日: 毎週月曜日

開館時間: 午前10時~午後6時

(入館は、午後5時30分まで)

お問合せ先: 担当学芸員 福井麻純

gakugei@emuseum.or.jp

広報担当 三宅由紀

kouhou@emuseum.or.jp

